

私の「もしも」を通じて私たちのケアを考える

～人生の「もしも」を誰かと語り合ってみませんか～

はらさわ けいたろう
講師：原澤 慶太郎 先生

2004 年慶應義塾大学医学部卒、家庭医療専門医、在宅医療専門医。亀田総合病院にて初期、後期研修。2011 年東日本大震災後、福島県南相馬市立総合病院に 2 年間出向、仮設住宅にて診療に従事。その後亀田総合病院 在宅診療科医長を経て部長代理。2015 年「もしバナゲーム」を開発、その草の根的な広まりを通じて、多様性や気持ちのゆらぎに思いを馳せ、「みんなで考えること」がやはり大切だと感じています。2018 年故郷の東京都港区で、はな医院開業。



日時：2026 年 3 月 14 日（土）13:00 ～ 16:00

場所：明治学院大学 白金キャンパス 2 号館 2202 教室

内容：第 1 部 講師によるご講話：「港区の在宅医療からみた 私たちらしい暮らし」

第 2 部 対話会：「もしバナゲーム」&交流会

「もしばなゲーム」を用いた交流・対話の時間

※「もしばなゲーム」は、人生の大事な「もしも」のことを話すきっかけを作るためのゲームです。

対象：テーマに関心をもってくださる方

（当事者、家族、支援者、地域住民、在学生など）（定員 40 名程度）

申込方法：WEB フォーム、メール、お電話による事前申込（先着順）

メールの場合は、お名前と、3/14 イベント申込希望の旨お書きください。

その他：託児や手話通訳など配慮が必要な方は、お早めにご相談ください。

問い合わせ：明治学院大学 社会学部附属研究所 相談・研究部門（森）

E-mail：ssoudan@soc.meijigakuin.ac.jp / TEL：03-5421-5205 平日 9:00-17:00

WEB フォーム

